

第1回菊川市介護保険事業計画等推進委員会
第1回菊川市地域密着型サービス運営委員会
第1回菊川市地域包括支援センター運営協議会

議事録

【日時】

令和2年6月10日（水）13:15～

【場所】

菊川市総合保健福祉センター プラザけやき 2階 201会議室

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 委員長、副委員長（会長、副会長）選出
- 5 委員長、副委員長（会長、副会長）あいさつ
- 6 議事
 - (1) 第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画の策定について
 - (2) 「令和元年度 菊川市介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定のための高齢者実態調査」について
 - (3) ワーキンググループでの検討のポイントについて
 - (4) 地域密着型サービスについて
 - (5) 地域包括支援センターの運営について
 - (6) その他
- 7 閉会

【議事録】

- (1) 第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画の策定について

（委員） 非常に大事な第8期の介護保険事業計画ですが、本気でやるかどうかをまず考えないといけない。県がやる部分というのは介護に関しては介護保険事業支援計画で、医療計画もやっている。市には医療に関して行政が受け持つところがないと思っていて、地域医療構想を病院にすべて任せてもらっているという意味からすると、ありがたい反面、今回の介護・医療連携という面では行政自体が医療の担当部署がないのでそれがすごく気になるところ。

昨年も医療介護連携の研修会で現場の熱がこもった会話が進んでいる。開業医の先生や家庭医の先生が10名近く出席してくれているが、その話し合いを基に実践されていない状況ではないかと思う。そこを繋げていくことが必要なことだと感じる。

地域の医療を考えてくださっているのは、開業医の先生と家庭医の先生達だと思っているので、ワーキンググループのメンバーとして入れてもらったりしながら、行政としても医療担当部署がないが、少なくとも医療と介護を繋いでいくような人材がいるともう一步進むと考えている。現場では、訪問看護師さんが不足しているのではないかと考えているが、家庭医の先生からは「訪問看護師さんたちを育ててもよい」と言ってもらっている。

また、菊川病院を辞めていく看護師さん達も、「訪問看護師として働くことで、もしかしたら生きがいを見つけることができるかもしれない」という看護師さんもいる。

菊川病院でも看護師のみなし体制で訪問をしていこうという話も出ていたりするが、そここのところを本気でやってくれる行政の部署がないと感じている。しかし、そこを繋いでくれるような人がいれば、歯車が回っていく可能性があると思っている。

- (2) 「令和元年度 菊川市介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定のための高齢者実態調査」について

質疑なし

- (3) ワーキンググループでの検討のポイントについて

(委員) 高齢者でもしっかりした方はいる。「互助」ということを積極的に活用していこうという方向はあるのか。

(事務局) 元気な高齢者に地域の活動に御活躍いただく事業についても、生活支援コーディネーターの業務の一環として取り組んでいく。

- (4) 地域密着型サービスについて

質疑なし

- (5) 地域包括支援センターの運営について

ブランチ（高齢者総合相談支援センター）を地域包括支援センターとして機能転換を図っていくことを承認

- (6) その他

令和2年度介護保険事業計画等推進委員会等 日程